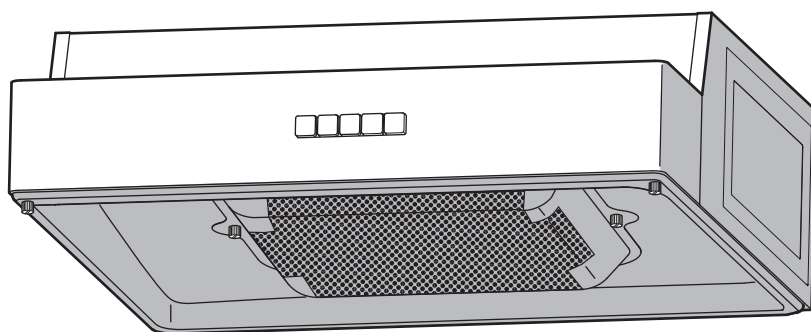
施工業者様用

Panasonic®

工事説明書
浅形レンジフード

品番 FY-60HF4 FY-60HF4SD2 FY-70HF4

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

■指定穴以外へねじを固定しない

禁止

内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

■D種接地工事をおこなう

アース線接続

漏電のときに感電するおそれがあります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■指定以外のねじを使用しない

禁止

内部の配線を傷つけ、感電するおそれがあります。

■交流100ボルトで使用する

火災・感電の原因となります。

⚠警告

■電源コードは補助枠、排気ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因となります。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

■電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

■レンジフード本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う

火災などの原因となります。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

■排気工事をおこなう場合､建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従がって、取付設置する

火災など重大な事故の原因となります。

⚠注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■取付金具やねじは付属のものを使用する

落下により、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

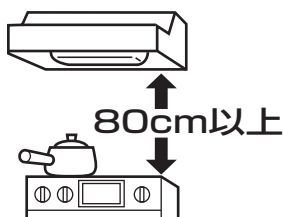
⚠注意

■製品交換の際に、古い製品の取付金具やねじなどは使用しない

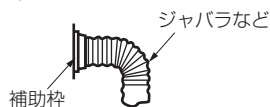
禁止

落下により、けがをするおそれがあります。

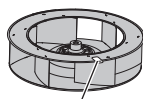
お願い

■ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。

火災予防条例ではフィルターの下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上必要です。
（高く取り付けますと吸い込みが悪くなります。）

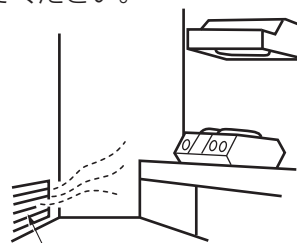
■次のような配管工事はしないでください。

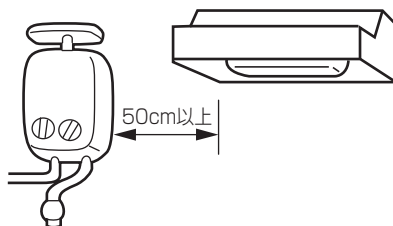
(1)極端な曲げ　(2)吐出口のすぐそばでの曲げ

(3)多数回の曲げ　(4)接続ダクト径を小さくする。

■羽根の回転バランスをとるためにバランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対にはずさないようにしてください。

異常や故障の原因となります。

バランサー

■空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。
（開口面積100～150cm²が目安となります。）

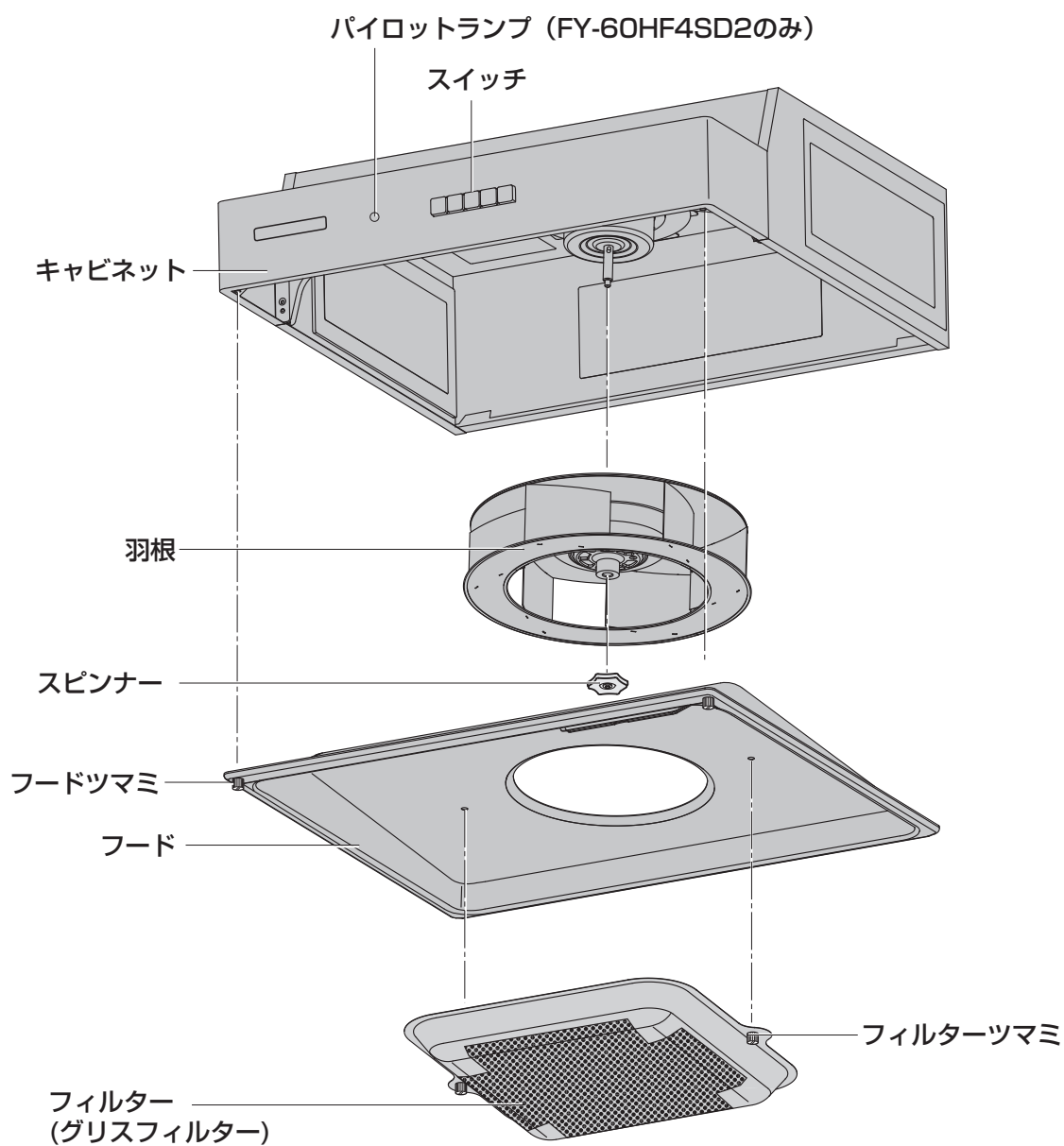
給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。

空気の取り入れ口

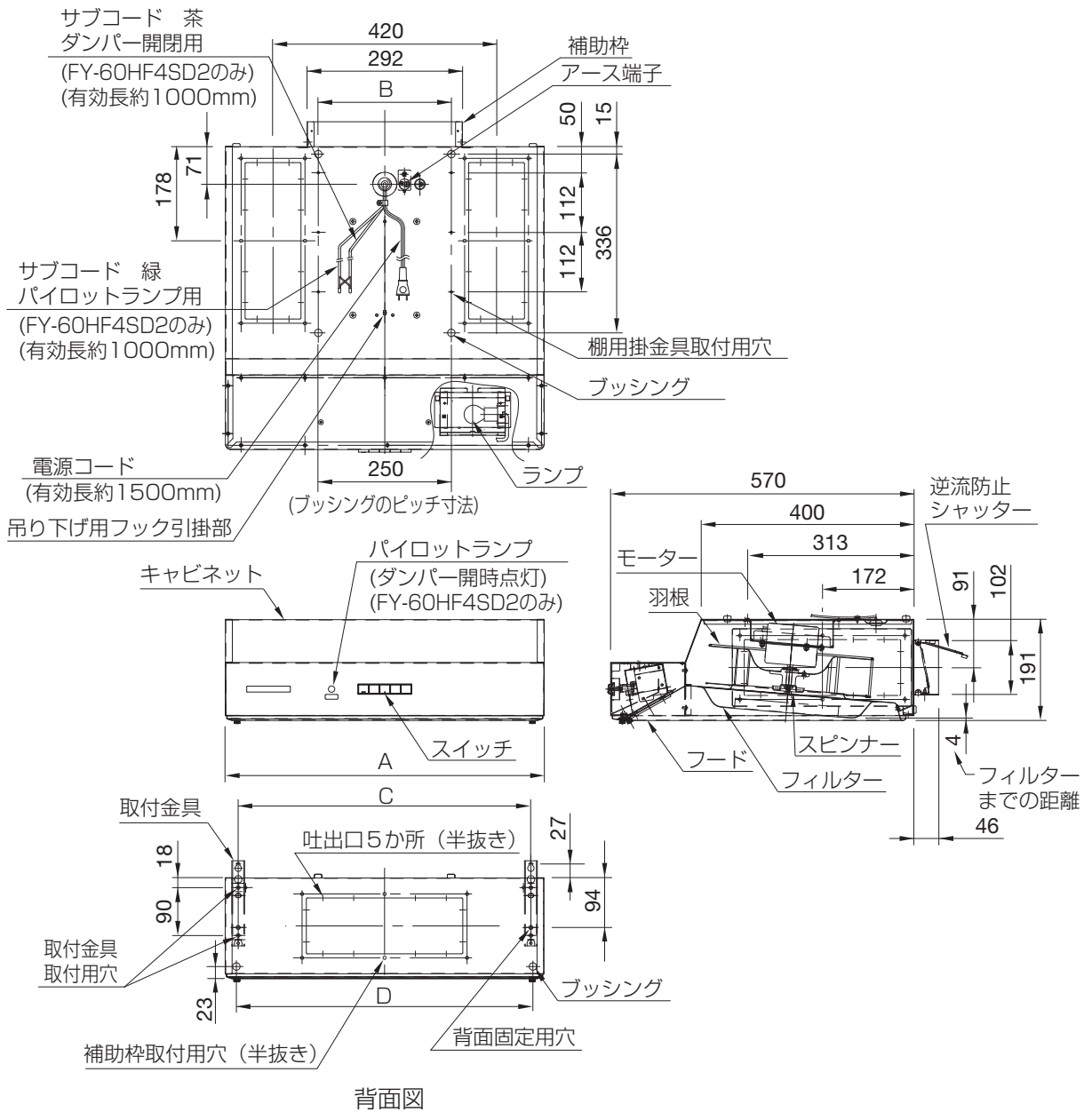
■ガス湯沸器は側方に離して取り付けてください。

■全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。

■羽根をはずした状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

各部の名前

パイロットランプ（FY-60HF4SD2のみ）
スイッチ
キャビネット
羽根
スピンナー
フードツマミ
フード
フィルターツマミ
フィルター
(グリスフィルター)

外形寸法図

※FY-70HF4のB寸法の棚用掛金具取り付け位置は、吐出口の外側になります。
※FY-60HF4SD2の場合はサブコード付きの機種になります。

■寸法表

単位：mm

品　番	A	B	C	D
60cmタイプ	600	250	550	558
70cmタイプ	700	600	650	658

付属品・別売品

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

●**タッピンねじ**
- 補助枠固定用（φ4×6）……… **6個**
- 取付金具固定用、棚用掛金具固定用（φ4×8）……………………… **10個**

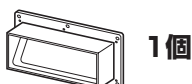
●**トラスタッピンねじ**
- 取付金具壁面固定用（φ4×40）……………………… **4個**
- 天面固定用（φ4×25）…………………… **4個**

●**トラス小ねじ**
- 取付金具用……………………… **2個**

●**ワッシャー**
- 背面固定用、天面固定用……… **4個**

●**蝶ナット**
- レンジフード固定用……… **2個**

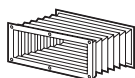
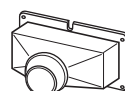
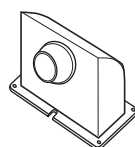
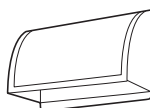
●**アルミテープ**
- 背面穴遮へい用…………… **2個**

●**パッキンテープ**
（補助枠の周囲に貼り付ける）
- ダクト接続用 ……………   **2個**

●**補助枠** ……………………… **1個**

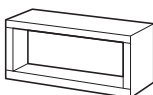
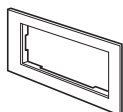
●**取付金具**
- 背面固定用………………… **2個**

別売品　詳細についてはカタログを参照してください。

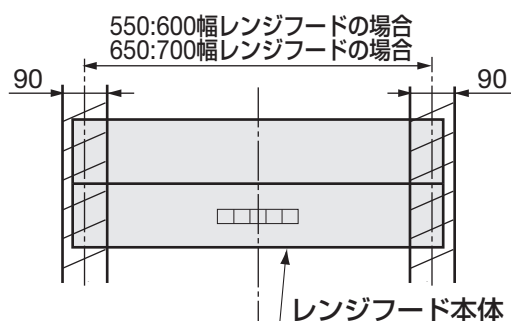
〔ジャバラ〕FY-JB303

（地域によっては、ジャバラを使用できない場合があります。関係官庁または消防署にお問い合わせください。）

〔棚用掛金具〕FY-KAS30

〔屋外フード（金属製）〕FY-HCS30

〔不燃枠〕FY-KYA601

〔絶縁枠〕FY-PW601

〔角丸アダプター〕FY-AC601

〔角丸アダプター〕FY-ACK601

取り付け前に

1.レンジフード本体取り付け用桟工事

1、レンジフード本体の取り付け用桟は下図のように固定します。〔単位：mm〕

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

2、取り付け用桟は厚み30mm×幅90mm程度のもの（できれば防虫処理したもの）を使用してください。
3、レンジフード本体の質量は、600幅……11kg
700幅……12kgです。
十分耐える取り付けをしてください。
しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。
4、レンジフード本体は、正面から見て左右方向に傾きがないよう、水準器を使用して水平に取り付けてください。（0.5度以下）

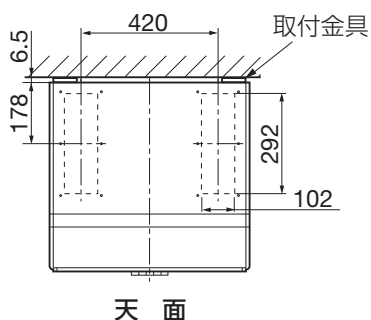
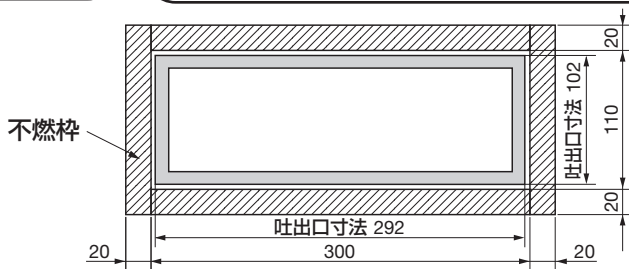
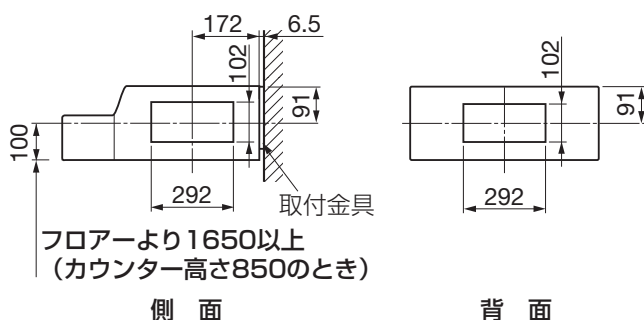
2.排気工事について

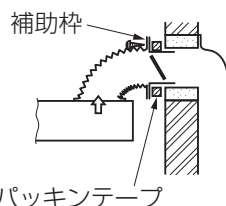
1、製品外形寸法図を利用して吐出口の位置に壁穴をあけ、不燃枠を取り付けてください。

天面排気の場合

天　面

後方・側方排気の場合

側　面　　背　面

2、別売品のジャバラ（FY-JB303）を利用する場合、付属の補助枠を必ず壁面に取り付けてください。
※シャッターがジャバラに当たり、開閉しなくなることを防止します。
（詳細はジャバラの工事説明書をご確認ください）

3、集合ダクトに排気する場合は、建築基準法に従って施工してください。

3.電気工事について

※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

1、 電気工事のご注意

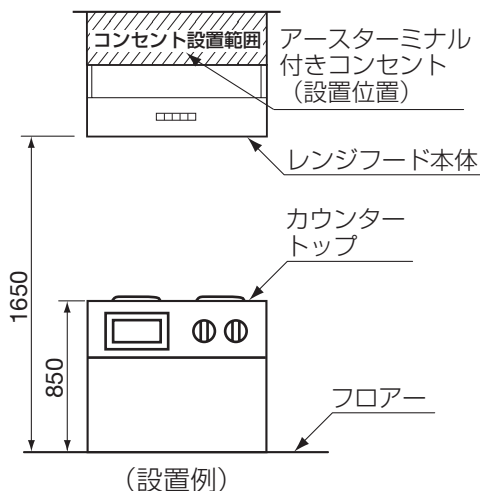
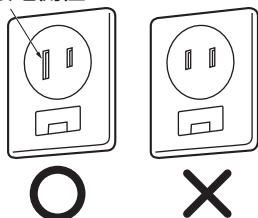
●本機は単相100V仕様です。

●本体を設置する場所の、図の位置にアースターミナル付きコンセントを設置してください。

※「天面直取り付け」または「吊り戸棚に取り付ける」場合は、図の位置に限らず電源コードの届く範囲で、電源コードを損傷しない位置にコンセントを設置してください。

●アース工事を必ずおこなってください。

●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。形状によっては使用できないコンセントがあります。下記をご確認ください。

（設置例）

2、 漏電遮断器の設置について

万一の漏電事故時安全確保のために、漏電遮断器の設置をしてください。

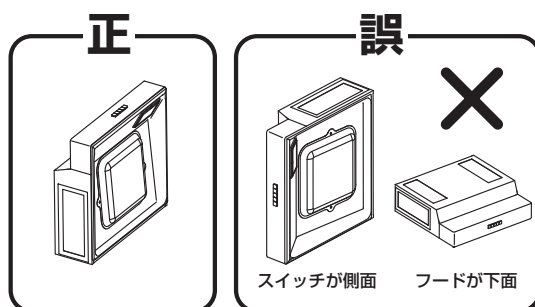
推奨漏電遮断器	住宅分電盤小形漏電ブレーカー 定格電流20A，感度電流15mA

4.開梱の際は

1. 本体に取り付いている包装材（段ボール、テープ）を必ず取りはずしてください。

※キャビネット前面（スイッチ操作面）に貼ってある保護シートは取りはずさないでください。

2. 右図のように正しい置きかたをしてください。

※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。

5.古い製品からの交換について

⚠注意

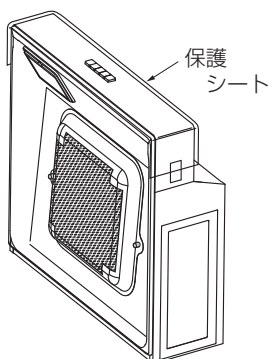
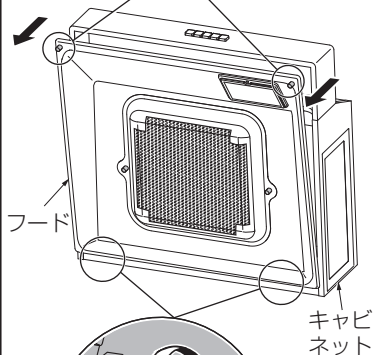
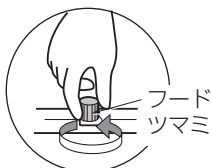
■製品交換の際に、古い製品の取付金具やねじなどは使用しない

落下により、けがをするおそれがあります。

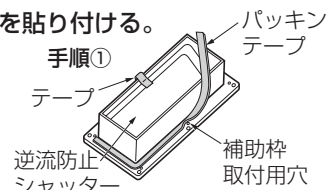
施工方法 以下の手順に従って施工してください。

1.フードをはずす

お願い

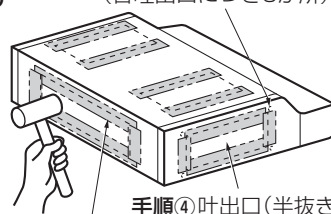
キャビネット前面に貼ってある保護シートは施工完了まで取りはずさないでください。

①フードツマミをゆるめ、

②フードを持ち上げてはずす。

2.補助枠の取り付け

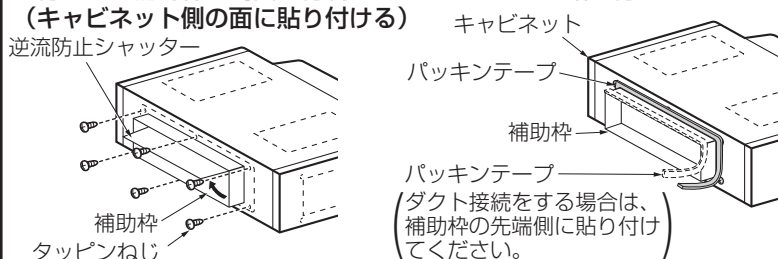
①補助枠の周囲に付属のパッキンテープを貼り付ける。
- 逆流防止シャッターを固定しているテープを取り除いてください。
- パッキンテープが余る場合は、切ってください。
- 補助枠取付用の穴がかくれないように貼り付けてください。
- 別売品の角丸アダプターを取り付ける場合はパッキンテープを貼り付けないでください。

②排気方向を決定し、決定した排気方向のテープをキャビネット内側からはがす。

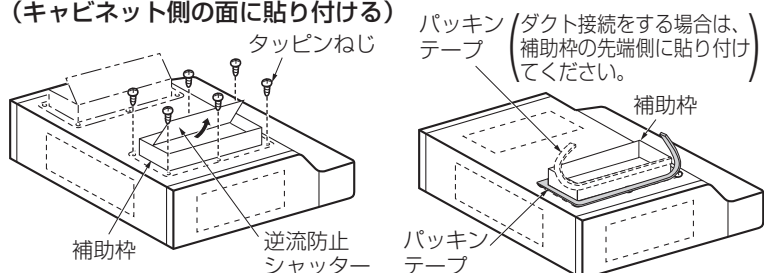
③ ②で決定した排気方向の補助枠固定用穴（6か所）を木ハンマーとドライバーなどで打ち抜く。

④ ②で決定した排気方向の吐出口を木ハンマーなどで打ち抜く。

お願い

- 強くたたきすぎての変形に注意してください。
- 吐出口を打ち抜く前に補助枠固定用穴を打ち抜いてください。
- 半抜きを打ち抜く際は、床に置いた面が傷つかないように柔らかい布などの上でおこなってください。

後方・側方排気の場合

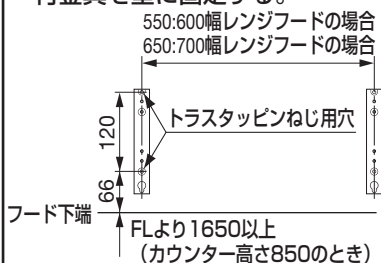
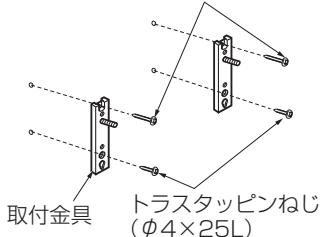
逆流防止シャッターが下図のように開くように、補助枠をキャビネット内側から吐出口に挿入し、付属のタッピンねじ（φ4×6 6個）で取り付ける。補助枠の周囲に付属のパッキンテープを貼り付ける。
（キャビネット側の面に貼り付ける）

天面排気の場合

逆流防止シャッターが下図のように開くように、補助枠をキャビネット内側から吐出口に挿入し、付属のタッピンねじ（φ4×6 6個）で取り付ける。補助枠の周囲に付属のパッキンテープを貼り付ける。
（キャビネット側の面に貼り付ける）

3.キャビネットの取り付け（取付金具を使用する場合）

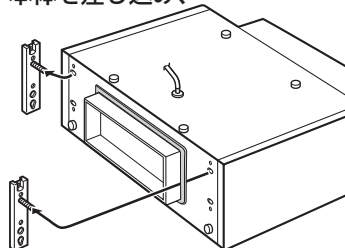
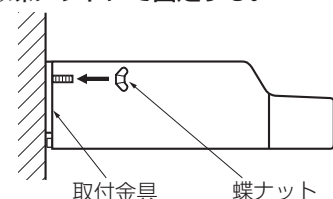
後方排気の場合、または側方・天面排気で補助枠を壁面に挿入しない場合

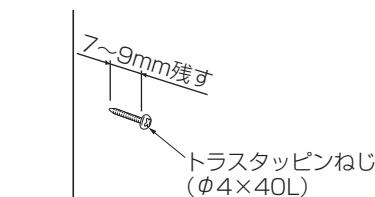
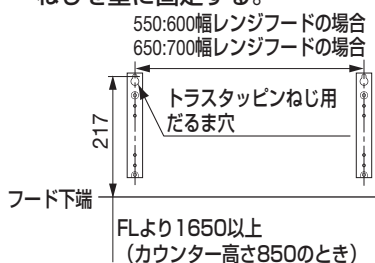
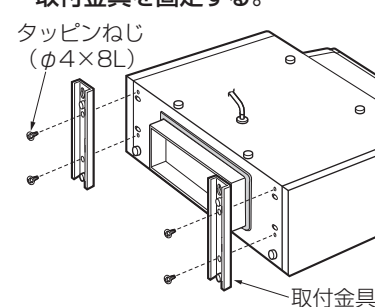
取付金具を壁に取り付ける場合

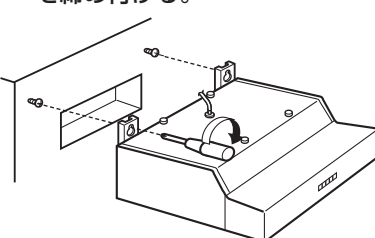
①取付金具にトラス小ねじを固定する。

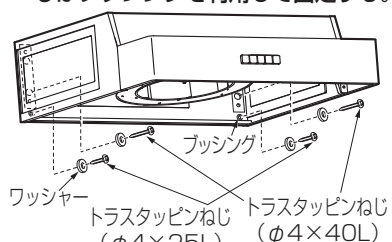
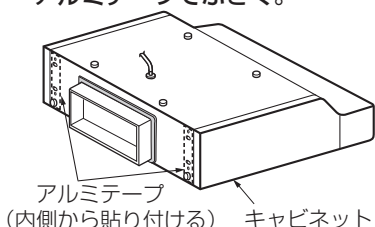
②下図に従って取付金具の位置を決め、トラスタッピンねじで取付金具を壁に固定する。

③取付金具のねじにレンジフード本体を差し込み、

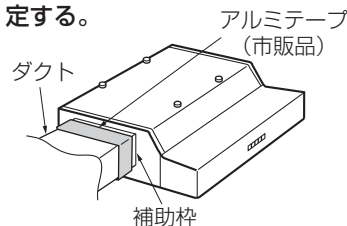
④蝶ナットにて固定する。

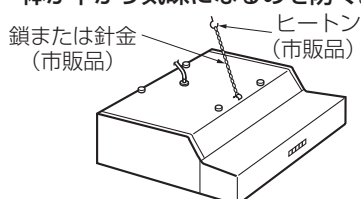
➡ 共通 へ

取付金具をキャビネットに取り付ける場合

①下図に従ってトラスタッピンねじを壁に固定する。

②キャビネットにタッピンねじで取付金具を固定する。

③キャビネットを引っ掛け、ねじを締め付ける。

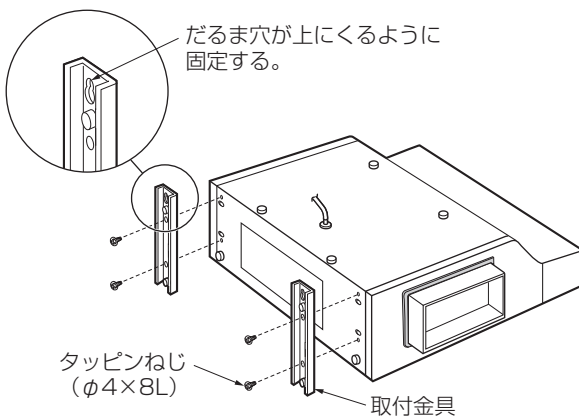
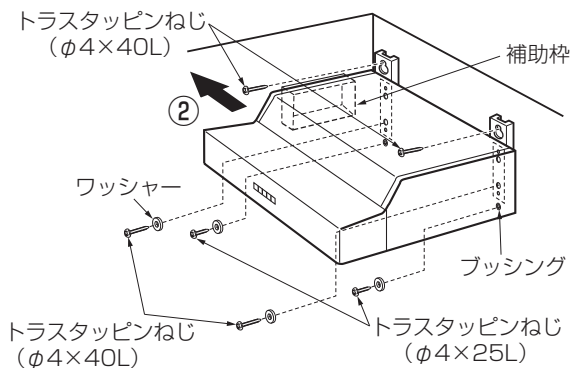
➡ 共通 へ

共通

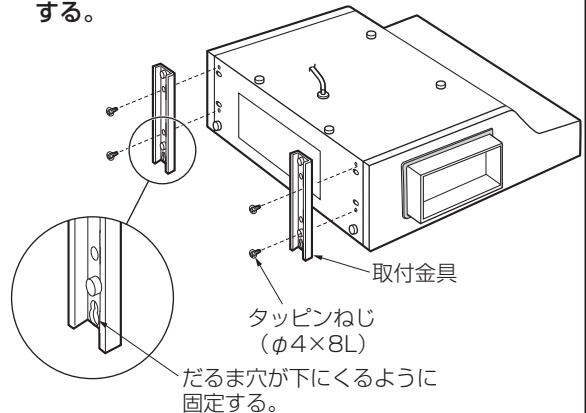
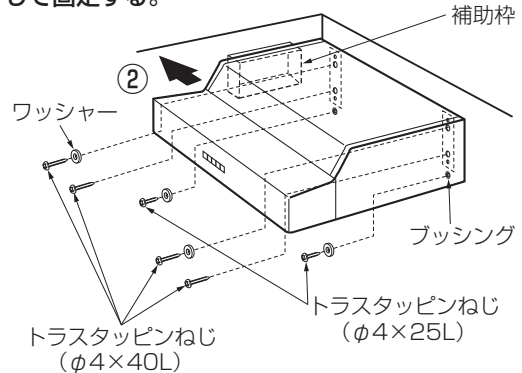
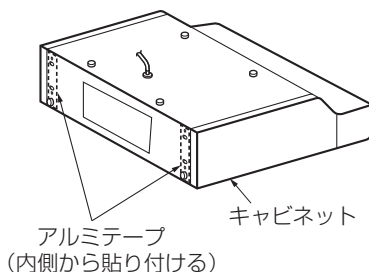
⑤トラスタッピンねじとワッシャーでキャビネットを固定する。下側のねじはブッシングを利用して固定する。

⑥キャビネット背面の取付穴をアルミテープでふさぐ。

●蝶ナットで固定する場合、または貼り付けにくい場合は､アルミテープを必要な形状に切って穴をふさいでください。

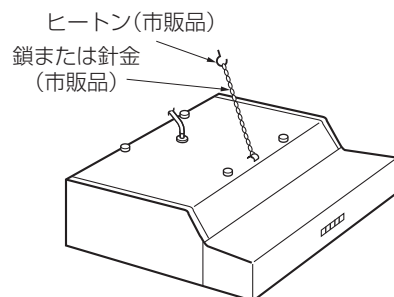
⑦側方・天面排気の場合は、補助枠とダクトを下図のように接続し、接続部をアルミテープで固定する。

●排気ダクトと可燃物の距離は、10cm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。
・5mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50mm以上離す。
・50mm以上の不燃材料で被覆する。

⑧鎖または針金で本体を吊り、本体が下がり気味になるのを防ぐ。

3.キャビネットの取り付け（取付金具を使用する場合）続き

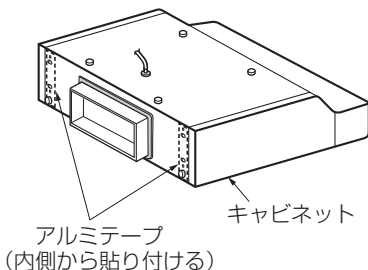
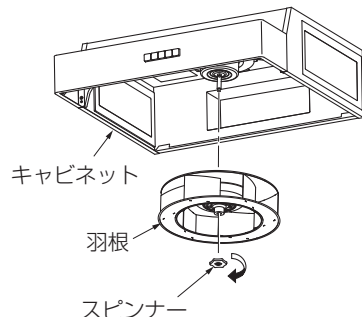
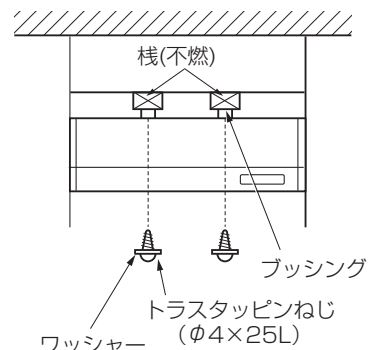
側方・天面排気で補助枠を壁面に挿入する場合

①キャビネットにタッピンねじで取付金具を固定する。

②補助枠を壁に挿入し、
③トラスタッピンねじとワッシャーでキャビネットを固定する。最下部のねじは、ブッシングを利用して固定する。

天面側にねじを固定するスペースが確保できない場合

①キャビネットにタッピンねじで取付金具を固定する。

②補助枠を壁に挿入し、
③トラスタッピンねじとワッシャーでキャビネットを固定する。最下部のねじは、ブッシングを利用して固定する。

④キャビネット背面の取付穴をアルミテープでふさぐ。

●貼り付けにくい場合は、アルミテープを必要な形状に切って穴をふさいでください。

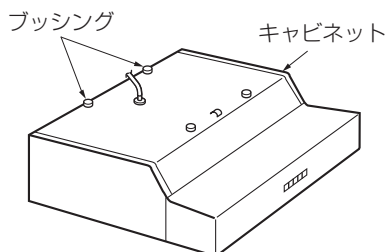
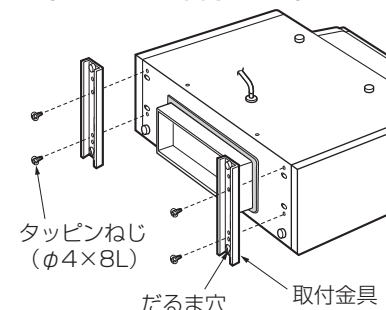
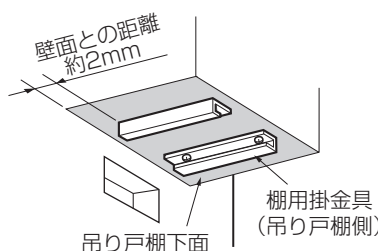
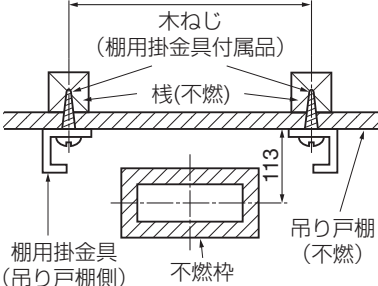
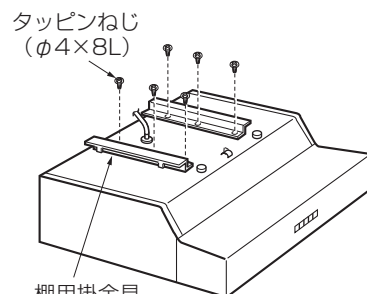
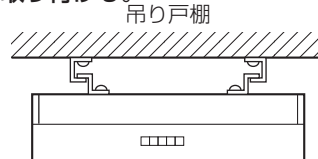
⑤鎖または針金で本体を吊り、本体が下がり気味になるのを防ぐ。

3.キャビネットの取り付け

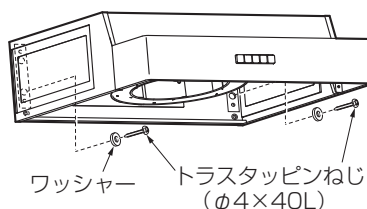
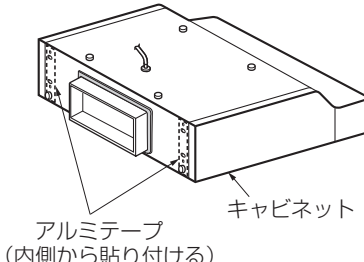
天面直取り付けの場合

①キャビネット背面の取付穴をアルミテープでふさぐ。

②羽根を押さえながらスピンナーをはずし、羽根をはずす。

③キャビネット天面のブッシングを利用して付属のトラスタッピンねじ(4個)とワッシャー(4個)で固定する。

※必ず桟（不燃）などに取り付けてください。
※電源コードを挟まないように取り付けてください。

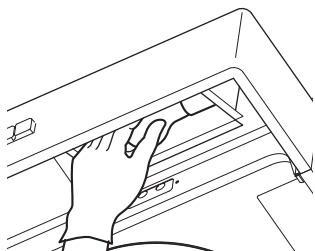
④羽根とスピンナーを元通りに取り付ける。
- 羽根は変形させないよう十分気を付けてください。
- スピンナーは確実に取り付けてください。

吊り戸棚に取り付ける場合（後方排気用）

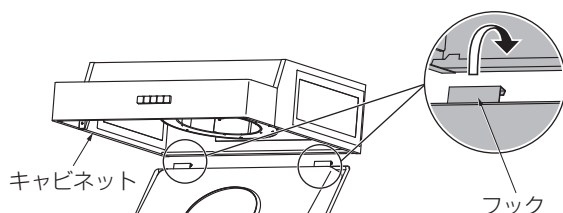
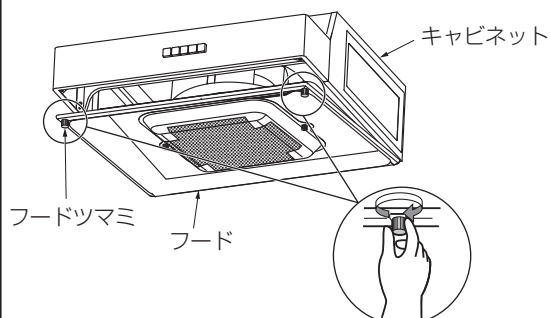
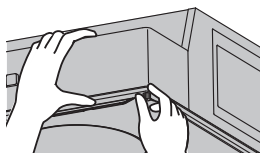
①キャビネット天面（背面側）のブッシング（2か所）を取りはずす。

②キャビネットにタッピンねじで取付金具を固定する。（だるま穴を下側にする）

③別売の棚用掛金具を吊り戸棚に取り付ける。

④キャビネットに棚用掛金具を付属のタッピンねじでとめる。

⑤キャビネットを前面から溝にはまるようにスライドさせて取り付ける。

※電源コードを挟まないように取り付けてください。また、棚用掛金具の端面などで損傷しないように、取り付けてください。

⑥トラスタッピンねじとワッシャーでキャビネットを固定する。

⑦キャビネット背面の取付穴をアルミテープでふさぐ。

●貼り付けにくい場合は、アルミテープを必要な形状に切って穴をふさいでください。

施工方法（続き）

4.電球の確認

※40W形以下のミニ電球
電球のゆるみがないことを確認してください。

5.フードの取り付け

①フードのフックをキャビネットに引っ掛ける。

②フードツマミを締め固定する。

●フードツマミが締めにくい場合は、フードとキャビネットを手で押さえながらフードツマミを締め付けてください。

6.電源の接続

FY-60HF4SD2は、必ず電源の接続前に下記の作業をしてください。
●サブコード（茶）を電動ダンパーの電源用コードに接続し、サブコード（緑）を電動ダンパーの表示灯用コードにそれぞれ接続する。

■D種接地工事をおこなう

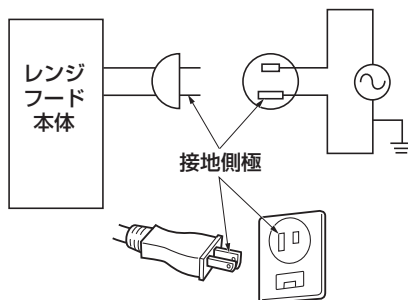
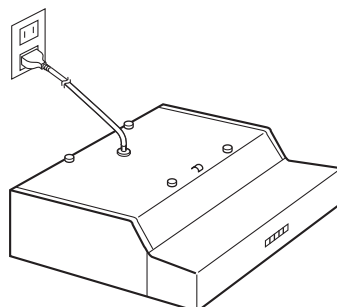
漏電のときに感電するおそれがあります。

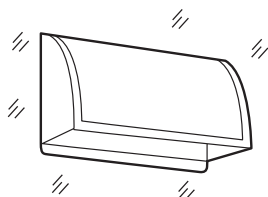
アース線接続

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

●万一の感電防止のため、必ずキャビネット天面のアース端子を使用してアース接続工事をしてください。
●電源プラグをコンセントに差し込みます。

●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。

7.外壁面の施工

●外壁面には、別売品の屋外フードを取り付けてください。
（取り付けの際は、付属の工事説明書をお読みください）

8.動作確認

●分電盤のブレーカーを入にして、本体操作スイッチでの動作を確認してください。

本体側	チェック欄
弱	
中	
強	
照明 切/入	
切	

お願い

●運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
※羽根は回っていますか？

●異常な騒音・振動がないことを確認してください。

●照明が点灯しない場合は、電球にゆるみがないかを確認してください。

●キャビネット前面の保護シートをはがしてください。